

We Love 丹沢

ほ ぜん さい せい
保全と再生をめざして

たんざわ おおやま そうごう ちょうさ
丹沢大山総合調査ニュースレター 第3号 2005年7月



ほんたな あぜがまる
「本棚（畦ヶ丸）」

(写真：南足柄市 ペンネーム・丹沢の鹿)

みんなの声 ～人材バンクご登録の方々から～

昭和20年9月、丹沢登山口。大倉高原の学校畑に秦野西小6年3クラスは草むしり。良く晴れて東京湾が一望できた。
(秦野市 渋沢老農人)

森は私たちの暮らしを守ってくれている。県土の40%を占める森林はかけがえのない「生命の源泉」であり、「未来への遺産」である。自然との共生を志向される神奈川県の数々の事業施策の展開と活発なボランティアの方々の参加活動は、頭が下がる。
(平塚市 イチロー)

5月、丹沢戸川林道の清掃に参加。ゴミは目につかない谷川に多く、あらためて山のマナーを守っていかなくては、と思いました。
(厚木市 石川 守久)

初登り 春丹沢や 十八歳 笑枝

高3、18歳のとき、山好きな兄に丹沢に連れていってもらいました。たしか、初春のうらかな日でした。登山口がどこだったか、はっきりとは覚えていません。
(横浜市 俳号・笑枝)

自然破壊と言われて久しい。海も山もそして空も。自然が損なわれているのは、元を正せば、皆人間によるもの。自然との共生、自然を守る運動を広く高めたいものです。
(横浜市 龍 孔人)

水質調査3回目(6月7日)参加時、クイズ形式で一層の知識を深める。ハイキング程度の装備と体力は必要と痛感しました。
(伊勢原市 小出 仁彦)

【協賛】 サントリー(株)／トヨタウエイズグループ／(NPO法人)丹沢自然保護協会／東京電力(株)／(株)有隣堂／相模鉄道(株)／小田急電鉄(株)／神奈川県農業協同組合中央会／IBS石井スポーツ(株)／神奈川中央交通(株)／(株)カモシカスポーツ／和英堂興産(株)／(株)コージツ／(財)神奈川県公園協会／(財)かながわトラストみどり財団／(財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団／神奈川県治山林道協会／神奈川県
※丹沢大山総合調査の趣旨を理解し、資金面のご協力をしてくださる企業・団体・個人を募集しております。
みなさんのご協力をお待ちしております。

●●●●● せんもんてき 専門的な調査 ●●●●●

丹沢大山総合調査では、①生きもの再生調査チーム、②水と土再生調査チーム、③地域再生調査チーム、④情報整備調査チームという4つの専門的なチームにわかれて調査を行っています。今回は、①生きもの再生調査チーム、②水と土再生調査チーム及び④情報整備調査チームの調査員の方々から、どんな調査を行っているのかを報告していただきました。

生きもの再生調査チーム（菌類グループ）

6月7日、西丹沢イデン沢調査のひとつ。Aさんは倒木に黒く薄く張り付いているクロサイワイタケ科のキノコ（*1）に注目している。とてもキノコとは思えない姿をしているが、Aさんは丹沢に生えるこの仲間の数種について、すでに詳しく調べている。Bさんは径3cmほどの白い貝殻状のサルノコシカケ類のキノコを採集した。調べた結果、キノコは貴重な種類であると分かったものの、キノコの着生材の一部を採取しなかったため、着生材が針葉樹か広葉樹か分からず残念。Cさんは沢べりの岩の上に生えているチャワンタケ類を見つけ、不思議そうに観察している。有機物のない岩の上にキノコが生えることはあり得ないからだ。キノコの基部を調べると岩に裂け目があり、



少量の土があった。一つの疑問は解けたが、このチャワンタケを調べるとオオチャワンタケという種類で、この種類は腐ったたたみとか、有機質の多い地上に生えるとされている。清潔な沢の水に洗われる岩に生えていることをどう考えるべきか、疑問が残る。（文：大型菌類部門 城川四郎）（*1）キノコとは？・・・植物でも動物でもなく、菌類の中の真菌類というグループに属します。キノコは学術的な用語ではないのでその定義はあいまいですが、概ね次のように理解されています。真菌類の有機性生殖器官（子実体）が大きくて目立つものは「キノコ」、小さくて目立たないものは「カビ」

情報整備調査チーム



丹沢の情報をインターネットで見よう！

みんなで丹沢の自然を知り、どうしていけば丹沢がより良くなるのか考えるために、丹沢の自然に関する情報をインターネットで見ることができるようになりました。名前を【丹沢自然環境情報ステーションe-Tanzawa】といいます。インターネットに<http://e-tanzawa.agri.pref.kanagawa.jp>と入力してみてください。丹沢ってどんなところだろう？って思ったら【アトラス丹沢】を押してみてください。丹沢がどんなところか、どんな生き物が住んでいるのか、どんな問題が起きているのかを地図で知ることができます。画面のいろんなところを押してみると、どんどん画面が変わっていきますよ。神奈川に住んでいる貴重な動物ってなんだ？って思ったら、【神奈川県レッドデータブック】を押してみてください。哺乳類、両生類など生き物の種類別や、あ・い・う・え・おなどの五十音などで調べることができます。これもいろんなところを押してみると、生き物について詳しい説明が出てきます。【e-Tanzawa サポート】には、丹沢の自然について勉強するためのいろいろな資料が載っています。まずはいろいろ押してみ、丹沢の自然に興味を持ってください。（文・写真：神奈川県自然環境保全センター 笹川裕史）

掲示板

● 横浜市 二階堂 卓也

皆さんダニ、ブヨにご注意ください。丹沢でも温かくなって大量発生しています。特に笹の中を歩く時は要注意です。長袖シャツ、長ズボンの着用と、防虫スプレー、携帯蚊取り線香、かゆみ止め、化膿止め軟膏も忘れずに。

● 東京都国立市 秦 和寿

丹沢の衛生動物*について調査しています。今はヤマビルの子供を調べています。野外調査を希望する方はご連絡ください。連絡先：FAX042-572-5215
*衛生動物とはハチ・マダニ・ブユ・蚊等を示す。

前回の総合調査の結果から、大気汚染物質に太陽の光が反応して発生する「オゾン」が、ブナ林の衰退原因の一つとして重要視されています。成層圏にあるオゾンの層は太陽からの紫外線を防ぐ大切なものですが、地上でオゾン濃度が高まると人や植物に害を与えます。都市部では多くの地点でオゾン濃度を測っていますが、山地での実態は十分には分かっていません。そこで、ブナ林の衰退との関係を調べるために、県の環境科学センターと自然環境保全センターが共同で、拡散サンプラーによる丹沢のオゾン濃度調査を行っています。具体的には、薬品に浸したろ紙を入れた小型装置を丹沢山地の100地点に設置し、4月から9月まで1ヶ月おきに交換・分析して各地点の平均オゾン濃度を調べます。5月の交換からは人材バンクの方にもご協力をいただいています。



サンプラー

また、オゾン濃度を10分おきに常時測定する調査も、檜洞丸山頂に測定機器を設置し、（財）電力中央研究所と共同で実施しています。

（文・写真：神奈川県自然環境保全センター 内山佳美）

人材バンク・ボランティア活動に参加して

木々の芽吹きも一段落して、本格的な新緑の季節の5月25日、「水と土再生調査チーム」の主導での「オゾンサンプラー交換作業」を手伝った。



設置状況

山々の稜線から山裾方向への樹相の変化を示す、緑の濃淡が鮮やかに映え、展望の開ける堂平の登山口から出発した。出発してから30分ほどで、交換場所につく。「オーイ、有りました」「ハイ、何番ですか」「何番ですよ」と互いに声を掛け合いながらサンプラーを交換・記録をつけた。

移動途中の尾根筋の道には霧が立ち込め、シロヤシオの花色と、アセビの若葉がわずかな陽射しの中に浮かび上がる。流れる霧は周囲に幻想的な雰囲気をかもし出していた。

昼食は、ブナの巨木の枯死倒木が折り重なる地点で太い幹に腰掛け、（あたかも電線に止まったムラスズメのように）ドレミ・・・の形となり話はずむ。「ヤマビル」の出没情報の入手とその対策の話の中から、担当者も「今日はまだ一度も見ていない」と足元を気にしながら話していたのが印象的であった。

作業終了後、七沢の自然環境保全センターに戻り、次回の再会を約束して解散した。新緑の真っ盛りを思わず、センター内の静寂さを保つ研究林の樹木票に目をやり、林内から柔らかな陽射しに向かって抜け出し、帰路についた。チームの同行者の皆さん、お世話になりました。

（文：綾瀬市 小松虎二）

丹沢写真館

～人材バンクにご登録の方々から～



深山カブラの陽浴の瞬間
「キクサキイチゲ」



珊瑚の輝き幻の野生ラン
「ヒメノヤガラ」



休息の一時・雄鹿にマルバダケブキ
（塔ノ岳）

（伊勢原市 丹沢蘭歩）

丹沢写真・資料展「丹沢～むかし・今・あした～」

丹沢の昔・今

「エッ。これブナの木。こんなに枯れちゃって、かわいそう」。悲しそうな声もれていました。「丹沢～むかし・今・あした～」をテーマに開いた、丹沢の写真を中心とした資料展（平成17年5月23日～31日、横浜市中区）でのことでした。

この資料展を主催した丹沢資料保存会は、丹沢の文献や資料の保存の重要性を呼びかけている団体です。この資料展で展示しました昔と今の丹沢の姿に大きな注目を浴びました。

昔はうっそうとしたブナの原生林。生い茂る笹や下草など自然そのままの丹沢でした。

それが、今はどうでしょう。

ブナの立ち枯れは多く、かつての原生林の姿はありません。笹や下草は姿を消し、台風ごとに土壌は流れ出してしまい、痛々しい荒廃した丹沢です。その原因は大気汚染や下草の衰退、シカ害やオーバーユースなどとされています。しかし最大の原因は、私たち人間の自然への思い上がりではないかと思えてなりません。

今の丹沢の姿をよく見つめて、丹沢の再生へみんなで力を注ぎましょう。

（丹沢資料保存会／文：植木知司、写真：奥野幸道）



昔：うっそうとした昔の檜洞丸（昭和29年7月）



今：明るくなってしまった今の檜洞丸（平成8年6月）

今後の予定

- 宮ヶ瀬ビジターセンター（清川村宮ヶ瀬）
…平成17年7月22日～8月31日
- 藤野芸術の家（藤野町）…平成17年9月2日～10月3日
- 生命の星地球博物館（小田原市）
…平成17年12月10日～平成18年2月12日
- 相模鉄道緑園都市、緑園スタジオ団体展（横浜市）
…平成18年2月15日～4月2日



平成17年5月23日に、丹沢大山総合調査公募型調査の一つ「丹沢写真・資料展（主催：丹沢資料保存会）」の初日、会場の横浜市中区の東京電力神奈川支店（TEPCO de Oasis）を松沢県知事が訪問しました。

*** ニュースレターに関するお問い合わせ ***

【発行元】

丹沢大山総合調査実行委員会 広報県民参加部会

【お問合わせ】

丹沢大山総合調査実行委員会 広報県民参加部会
横浜事務局（神奈川県環境農政部緑政課自然公園班内）
〒231-8588（住所不要）
TEL：045(210)4315
FAX：045(210)8848
e-mail：szkoen.258@pref.kanagawa.jp
URL：http://www.minnano-tanzawa.net/

* 丹沢大山総合調査「子ども丹沢体験学習」のお知らせ *

平成17年秋に、財団法人神奈川県ふれあい教育振興協会との共催により、「子ども丹沢体験学習」を実施いたします。詳しい内容につきましては、今後パンフレットや丹沢大山総合調査ホームページなどで、お知らせいたします。

【お問い合わせ】

丹沢大山総合調査実行委員会 広報県民参加部会
横浜事務局（神奈川県環境農政部緑政課自然公園班内）
TEL：045(210)4315
URL：http://www.minnano-tanzawa.net/

●●● お待ちしています！ ●●●

ニュースレターに関するご意見や、ご感想をお問合わせ先までお寄せください。また、丹沢大山にまつわる楽しい体験談も募集中です。みなさんの声をお待ちしています！

【表紙の写真】今年の4月29日、畦ヶ丸から下山中にここに寄り道しました。とても暑い日だったので、圧倒的な滝の水飛沫を浴びてリフレッシュしました。



●●● 丹沢大山総合調査人材登録バンクに登録しませんか？ ●●●

人材バンクでは、ご登録いただいた方に調査・その他活動に関する情報を随時お届けしております。平成17年6月末現在で288人の方のご登録をいただいております。さらに多くの方のご登録をお待ちしております。

大募集中！

ボランティア
申し込み

人材バンク
登録

派遣

依頼

- ・専門的な調査
- ・県民参加型の調査
- ・公募型調査
- ・実行委員会への協力

【お申込方法】申し込み票をお送り致しますので、下記の申し込み先に、お名前・ご住所・ご連絡先(電話番号・メールアドレス等)をお知らせください。

【お申込先】広報県民参加部会 横浜事務局 TEL：045(210)4315
e-mail：szkoen.258@pref.kanagawa.jp